

生涯学習だより

問 教育課 生涯学習係 ☎(83)7021

松田幼稚園PTAと 寄幼稚園保護者合同

10月17日(火)松田幼稚園にて、「親子でズンバ」を実施しました。



親子で、音楽に合わせて楽しく体を動かしました。園児がよく知っている「ジャンボリミッキー」や「おどるポンポコリン」などの曲に合わせ、講師の振り付けをまねしながら踊りました。

コロナ禍明け、久しぶりに親子での活動ができ、親も子も思い切り楽しんでいました。

寄小学校PTA

11月11日(土)寄小学校創立150周年記念式典に併せて、家庭教育学級を開催しました。

「リリー サクソフォン カルテット」

によるサクソス四重奏「コンサート」を児童、保護者、地域の皆さんが一緒になって楽しみました。

「美女と野獣」や「星に願いを」など、親しみのある



幼・小・中PTA 家庭教育学級開催

子どもの成長に役立てるため、教育委員会の委託事業として、各PTAで保護者向けの家庭教育学級を開催しています。

曲も織り交ぜながらの演奏で、体育館にサクソスの軽快な音が響きました。
**松田小学校PTA・
松田中学校PTA合同**

11月11日(土)生涯学習センターで、「親も子も自己肯定感があがる関わり方」脳科学の視点を踏まえて「と題して実施しました。

しつけのゴールは、「自己コントロールができるようになること」なので、感情的な言葉を使わず、良いことも悪いことも子どもの姿をありのままに「実況中継」するのが良いこと、子どもの姿に共感すること、子どもにも「聞く耳」ができ、次の言葉が入りやすくなることなどを具体的な事例を交えて伺いました。後半二人

組で行った演習では、参加者から「子どもの気持ちになつて聞くことができた。これからは、感情的にならずに話しかけたい。」などの感想が寄せられました。



松田 文化財探訪

松田の関東大震災 その8

文化財保護委員 桐生 海正

関東大震災とヤマメ

関東大震災による山林の被害やそれに伴う大量の土砂流出についてみてきました。これらの影響は、人間のみならず、生物たちにも及びました。その最たる例がヤマメという溪流魚です。現在も寄地区を流れる中津川やその下流の川音川にはヤマメが生息していますが、実は在来ヤマメは震災で一度絶滅したと伝えられてきました。

の(ことか)やヤマメの稚魚一万五千尾の放流があり、川にぎわいが戻ってきました。この他、「郷土資料」では、鯉の養殖を志す者が現れたことにも触れています。

「読本教材を主とせる郷土資料」には、震災前、中津川には「香よき鮎及ヤマメ」が多く生息していたとあります。そのため、夏にそれらの魚を捕る漁撈に従事する者が多かつたようです。しかし、震災後、河川は荒廃し、一時は全く魚影が消えてしまったそうです。その後、昭和九年(1934)に足柄上郡水産組合の斡旋で川鱒(ニジマス

さて、震災で一度滅んでしまったとされてきた在来ヤマメですが、近年の調査で酒匂川水系のいくつかの支流で今も生息している可能性が示されました(『丹沢大山総合調査術報告書』(2007年))。もしかしたら、松田町内の沢にも、今もひっそりと震災を生き延びたヤマメが生息しているかもしれません。



中津川支流で釣れたヤマメ